

野崎駅西口駅前広場整備事業について

質問（八木英子議員）野崎駅西口駅前広場整備事業について伺います。

答弁（市長）野崎駅西口駅前広場整備事業は、平成十八年から実施をしております。この事業は、野崎駅周辺の百三十ヘクタールの区域内の公園、広場、道路、歩道などを一体的に整備するもので、今年度は駅前広場の公衆トイレ、線路南側の交流広場、国道四六一号と薄葉団地間の歩道改良を実施しております。事業は、平成二十

二年度で終了いたしますが、現在野崎駅西口周辺は、広場の整備、駐車場、駐輪場整備で見違えるほどきれいに変わりました。

さらに、野崎地区活性化事業では、地元で野崎地区活性化協議会が発足しました。平成十九年度からの交流スポーツ大会では、三世代によるグラウンドゴルフ、輪投げが行われました。昨年のイルミネーション設置、プラントアーの設置では、地域住民の皆さんはもとより、野崎駅を利用する乗降客の



黒羽統合中で使用される予定の県産材を活用した机・椅子

とちぎの元気な森づくり 県民税について

質問（鈴木徳雄議員）平成二十年度からどのような事業を実施されてきたのか伺います。

答弁（市長）本市の取り組み状況は、将来まで守り育てる里山林整備事業、野生獣害軽減のために緩衝帯を設ける里山林整備事業、通学路や住宅周辺の安全安心を確保するための里山林整備事業などに取り組んでおります。

平成二十年度は三地区で約二十四ヘクタールの事業を実施し、

総事業費で二千百四十四万二千元でありました。平成二十一年度はさらに区域を追加し、八地区で約百二ヘクタールの事業を実施しており、約三千万円程度を予定しております。

本事業も当初から見ると年々増加しており、特にイノシシ被害対策として須賀川地区などでの実施区域が増えてきております。

一方、県において実施する奥山林整備事業については、山林

の機能回復のために間伐を行う事業であります。平成二十一年度には市内奥山林の百四十三ヘクタールが実施され、総事業費で約二千六百七十二万円とのことであります。平成二十一年度においてはさらに区域を追加し、約二百五十二ヘクタール実施する予定で、四千六百四十一万五千円の予算額となっております。また、四月開校の黒羽統合中学校に木製の机、椅子が四百基配付されることとなっており、県産材の活用と木の香る環境づくりが図られることになっております。

方に喜んでいただいております。また、野崎夏まつりでは、やぐらを組んで、太鼓、笛による盆踊りの復活に感激され、多くの方に喜んでいただきました。これらの事業は、役員の皆様のご努力で、住民参加による活性化対策が功を奏した結果であり、今後とも期待をしたいと考えております。

野崎駅西口駅前広場がきれいに整備されることもあり、事業完了を記念した記念碑については、シンボルとなるようなものについて、地元でも要望がありますので、設置をする方向で考えたいと思っております。



きれいに整備された野崎駅西口駅前広場